

令和5年度全建賞 推薦調書
インフラ整備の事業又は施策の部(インフラの部)

ふりがな	たかちだにだいいちさぼうえんていじぎょう
1. 事業(施策)の名称	高地谷第1砂防堰堤事業
2. 事業(施策)実施期間	平成20年8月 ~ 令和4年3月
3. 事業費(工事費)	2400百万円
4. キーワード	砂防堰堤、ソイルセメント工法、コスト縮減、地域防災
5. 事業概要	<p>高地谷第一堰堤は、岐阜県揖斐川町小津地区に完成した高さ27mの砂防堰堤である。揖斐川上流域は、岐阜県で最も多い降水量と、根尾谷断層をはじめとする活断層に破碎された地質によりたびたび土砂災害が発生していることから、地域の土砂災害を防止するとともに、揖斐川本川への土砂流入による洪水の防止を目的として本堰堤が計画された。</p>

6. アピールする事業又は施策の「手段」と「秀でた成果」		
ハード or ソフトの分類 : 該当する方に○印	① ハード面 に秀でた事業	② ソフト面 に秀でた取組
アピールする 1)「手段」	(b)日本最大級の砂防ソイルセメント工法 () () ()	() () () ()
アピールする 2)「秀でた成果」	(b)コストの縮減 (i)土砂災害の防止 ()	() () () ()

7. 特にアピールしたい点
<p>高地谷第1砂防堰堤は、コスト縮減のために「砂防ソイルセメント工法を採用している。砂防ソイルセメント工法とは、現地発生土砂とセメントと水を混ぜた「INSEM」と呼ばれる材料を締め固めて施工する工法であり、コストの削減や工期の短縮が可能である。なお本堰堤は、高さは27mであり、砂防ソイルセメント工法で施工した砂防堰堤としては全国でも2番目の高さである。</p> <p>また、堰堤が位置する高知川では、平成元年9月に500mmを超える豪雨による土石流が発生し、家屋被害(住宅の半壊1棟、床下浸水19棟)や国道303号の寸断など甚大な被害が発生した。令和5年8月の台風第7号の際には、連続雨量433mm、時間最大雨量53mmの降雨に見舞われましたが、完成した高地谷第1砂防堰堤が土砂流木を捕捉する等したため、下流の被害を防いだ。</p>

8. 事業を代表する写真及びキャプション



完成した高地谷第1砂防堰堤



令和5年8月降雨時の様子

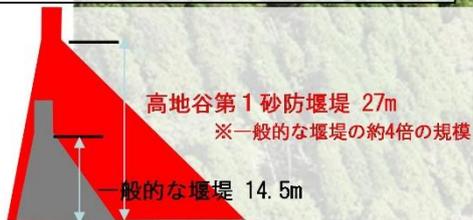
9. 事業内容・添付資料

高地谷第一砂防堰堤の概要

高地谷第一堰堤は、岐阜県揖斐川町小津地区に計画された高さ27mの大型の砂防堰堤です。揖斐川上流域は、岐阜県で最も多い降水量と、根尾谷断層をはじめとする活断層に破碎された地質により、たびたび土砂災害が発生していることから、地域の土砂災害を防止するとともに、揖斐川本線に土砂が流入して発生する洪水の防止を目的に計画。



堰堤は、「ソイルセメント工法」により、従来工法よりも工費及び工期の縮減を目指す一方、同工法としては**日本で最大級の、高さ27mの巨大な堰堤**として設計されており、技術的にも難易度の高い工事です



※砂防ソイルセメント工法とは、セメントと現地発生土砂を混合し堰堤の材料にするもので、現場条件により従来のコンクリート堰堤よりも安価かつ急速に施工できる工法。

- ◆施工箇所：岐阜県揖斐川町小津地区
- ◆堰堤高さ 27m 幅 8.7m
- ◆事業費約 24億円
- ◆平成17年に事業化し平成20年より工事用道路に着手
- ◆令和3年3月に堰堤本体完了
- ◆令和4年3月に仮排水トンネルを閉塞し全体工事完了

◇ 管内砂防施設の効果

・高地谷第1砂防堰堤

- ・高地川では、平成元年9月に500mmを超える豪雨で土石流の流入による家屋被害（住宅の半壊1棟、床下浸水19棟）や国道303号の寸断など甚大な被害が発生
- ・今回、小津雨量観測所では累加雨量433mmを観測したが、令和4年3月に完成した高地川第1砂防堰堤により土砂を補足したため被害無



高知川の支川月尾谷で発生した土石流 平成元年(1989.9)